

都市再生整備計画 事後評価シート
松任駅周辺地区

平成28年3月

石川県白山市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	白山市		地区名	松任駅周辺地区			面積	28ha			
交付期間	平成23年度～27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	566.5百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(金剣通り線(鉄道横断部))、高質空間形成施設(自由通路整備グレードアップ分、自由通路内トイレ整備、駅前広場内施設整備)、高次都市施設(観光案内所整備)											
		提案事業	地域創造支援事業(馬場川改修(鉄道横断部))											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(金剣通り線(鉄道横断部))			削除/追加の理由			松任駅前地区土地区画整理事業での施工となったため				影響なし	
		提案事業	地域創造支援事業(馬場川改修(鉄道横断部))			削除/追加の理由			松任駅前地区土地区画整理事業での施工となったため				影響なし	
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場整備、緑地整備)、高質空間形成施設(歩行者用通路整備)			削除/追加の理由			目標達成に効果的な事業を追加				影響なし	
提案事業		地域創造支援事業(大型バス駐車場整備)、事業活用調査(事業実施効果調査)			削除/追加の理由			市内山麓地域へのツアーバス利用の高まりから				影響なし		
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	駅周辺踏切横断歩行者数	人/12h	基準年度	H18	目標年度	H28	モニタリング	-	評価値	206	○	自由通路が設置されたことで、駅南北を安全に横断できる手段が選べるようになったことに加え、自由通路に付属されたトイレや物販施設、案内所といった施設の利便性が高いことが、踏切横断者数の大幅な減少につながったと考えられる。	平成28年5月
				従前値	381	目標値	310					なし		
	指標2	公共交通の利便性満足度	%	基準年度	H22	目標年度	H27	モニタリング	-	評価値	41.62	○	松任駅南北広場や自由通路が整備されたことで、松任駅自体の利便性が向上したことや、松任駅周辺のコミュニティバス「めぐーる」の利用需要が高まり、その需要に対して適切な対策を実施できたことにより、公共交通の利便性満足度向上につながったと考えられる。	-
従前値				18.11	目標値	25.00					なし			
指標3	車椅子の駅南北横断時間短縮	分	基準年度	H22	目標年度	H24	モニタリング	-	評価値	4.0	△	自由通路が整備されたことで駅南北の横断時間が大幅に短縮されたが、エレベーターをバリアフリー対応としたことで、当初想定された移動時間よりやや遅れる結果となっている。目標値24(秒)に対して実測値44(秒)と1箇所あたり20秒の遅れが出ており、それが2箇所ですべてとして40秒分の遅れが生じている。エレベーター以外の部分は問題なく目標値を達成している。	-	
			従前値	8.0	目標値	3.3					なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4)定性的な効果発現状況	・高質空間形成施設(自由通路整備グレードアップ分、自由通路内トイレ整備、駅前広場内施設整備、歩行者用通路整備)、高次都市施設(観光案内所整備)といったJR松任駅周辺の事業実施に伴い、駅前における地域住民主体のイベントが増加して、まちづくり活動の参加者も増加している。													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-			
	住民参加プロセス	・駅前広場内施設整備(基幹事業/高質空間形成施設) ・緑地整備(基幹事業/地域生活基盤施設)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○	・シェルター等の施設を活用して駅前イベントを実施し、空間の有効活用を図る。 ・整備された金剣参道の維持管理(清掃など)を継続して実施する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	・駅前広場内施設整備(基幹事業/高質空間形成施設) ・緑地整備(基幹事業/地域生活基盤施設)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○	・行政と住民が協働して駅前イベントの活性化に取り組む。 ・行政と住民が協働して公共施設の管理体制を構築する。		


様式2-2 地区の概要

松任駅周辺地区(石川県白山市) 都市再生整備計画事業の成果概要


まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 白山市の交通アクセス拠点となる松任駅周辺を土地区画整理事業と併せて整備し、白山市の顔となる玄関口づくり 目標1「駅周辺の一体化」: 鉄道で分断された南北市街地の一体化を推進。 目標2「都市機能の充実」: 松任駅を交通結節点とした駅周辺の機能強化。 目標3「駅の利便性向上」: 駅周辺のバリアフリー化と利便性の向上。	①駅周辺踏切横断歩行者数	単位: 人/12h 381 H18	310 H28	206 H27
	②公共交通の利便性満足度	単位: % 18.11 H22	25.00 H27	41.62 H27
	③車椅子の駅南北横断時間短縮	単位: 分 8.0 H22	3.3 H24	4.0 H27
		単位: H	H	H
		単位: H	H	H




自由通路整備グレートアップ分




駅前広場内施設整備




自由通路内トイレ整備




自転車駐車場整備




観光案内所整備



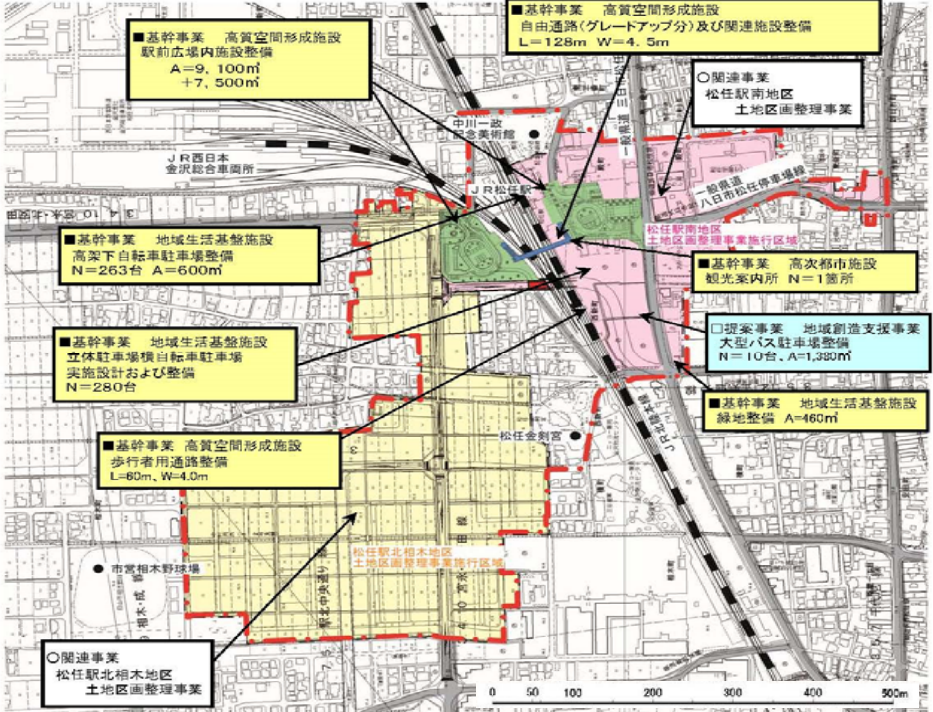
緑地整備



歩行者用通路整備



大型バス駐車場整備



Map showing project locations and details:

- 基幹事業 高質空間形成施設 駅前広場内施設整備 A=9,100m² +7,500m²
- 基幹事業 高質空間形成施設 自由通路(グレートアップ分)及び関連施設整備 L=128m W=4.5m
- 関連事業 松任駅南地区 土地区画整理事業
- 基幹事業 地域生活基盤施設 高架下自転車駐車場整備 N=263台 A=600m²
- 基幹事業 地域生活基盤施設 立体駐車場横自転車駐車場 実施設計および整備 N=280台
- 基幹事業 高質空間形成施設 歩行者用通路整備 L=80m, W=4.0m
- 関連事業 松任駅北相木地区 土地区画整理事業
- 基幹事業 高次都市施設 観光案内所 N=1箇所
- 提案事業 地域創造支援事業 大型バス駐車場整備 N=10台, A=1,380m²
- 基幹事業 地域生活基盤施設 緑地整備 A=460m²

課題の改善状況

- ・当該計画事業を受け、JR松任駅前のイベント参加者数は5,904人/年(H22)から23,940人/年(H27)と大幅に増加し、活性化が図られている。
- ・歩行空間や駐輪場が整備されたことで、通勤通学者の交通利便性が向上し、電車やバスとの相乗効果が発現したことで、公共交通に対する満足度が向上している。
- ・自由通路を含め、広場やトイレが整備されたことで、公共施設のバリアフリー化に対する満足度が14.94%(H22)から35.43%(H27)と大きく改善が図られている。

まちの課題の変化

未解決、新たな課題

- ・駅前で開催されるイベントは増加しているが、まだ一過性のイベントとなっており、市民が手軽に活用できるイベント広場だという認識が薄い。
- ・公共交通に対する満足度は向上したが、まだ半分以上の住民が、現状の公共交通に満足している訳ではない。
- ・JR松任駅における点での施設機能は拡充したが、まだ駅周辺の面的なバリアフリー化は十分ではない。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

想定される事業

- ・JR松任駅前のイベント設備拡充、住民と連携したイベントの創出
- ・駐車場、駐輪場の整備、路線バス、コミュニティバスの交通ネットワーク改善、ツアーバス等の路線開拓
- ・歩行空間のフラット化、監視カメラの設置、防犯灯の増設